News Release

2026 年 11 月 19 日
株式会社博報堂ＤＹホールディングス
株式会社博報堂ＤＹコーポレートイニシアティブ

博報堂ＤＹコーポレートイニシアティブ、「日本 AI 大賞 2026」組織の部にて初代「大賞」を受賞

―「わたしが助かる」から「みんなが助かる」へ。おせっかい心こそ、AI アプリの開発エンジン。―

株式会社博報堂ＤＹホールディングスの傘下である株式会社博報堂ＤＹコーポレートイニシアティブ（本社：東京都港区、代表取締役社長：多田英孝、以下 博報堂ＤＹコーポレートイニシアティブ）は、日本 AI 大賞実行委員会（事務局：一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会）が主催する「日本 AI 大賞 2026」組織の部で「大賞」を受賞しました。



「日本 AI 大賞」は、「何を目指して、AI を活用したか。」を問うアワードとして、今年新設されました。本年度は全国から 126 件の応募があり、「ビジョン・挑戦性」「実践と成果」「独自性」「共有価値」の 4 つの観点での審査の結果、博報堂ＤＹコーポレートイニシアティブは「組織の部 大賞」に選ばれました。

日本AI大賞
2026

博報堂ＤＹグループでは、2024 年 4 月に社内外での AI の先端研究や技術開発を推進する「Human-Centered AI Institute（HCAI）」を設立し、“人間中心の AI”によるクリエイティビティの進化・拡張を目指して博報堂ＤＹグループでの AI 関連施策を推進しています。

グループのコーポレート機能の中核を担う博報堂ＤＹコーポレートイニシアティブでは、AI 推進活動におけるビジョンに「AI で社員の“やりがい”の総量を増やす」を掲げています。IT スキルではなく、誰かが困っていたらつい手を出してしまうような「おせっかい心」を選抜条件とした「AI ビルダー」87 名を 13 部門から選出し、社員が自発的に AI アプリを開発する環境を構築した結果、2026 年 6 月末時点で 132 本ものアプリ開発計画が集まりました。さらに、生活者発想の視点を取り入れた「正しさ×面白さ」をテーマにしたアプリの UI 設計や、フェス形式の全社共有会を通じて現場への定着を目指しました。こうした組織文化の変革が評価され、今回の受賞にいたりました。

博報堂ＤＹグループでは今後も“人間中心の AI”によるクリエイティビティの進化・拡張を目指すとともに、グループ全社員の AI 領域における専門知識獲得・リテラシー向上を基盤に、博報堂ＤＹグループの横断的な AI 専門家集団 HCAI Professionals の活動として、AI との共創によるクライアント企業のマーケティング支援の高度化と、新たな価値創造を推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社博報堂ＤＹホールディングス　　グループ広報・ＩＲ室 山崎・白川・塚田 koho.mail@hakuhodo.co.jp